

第 2 表

居宅サービス計画書(2)

利用者名 様

作成日 年 月 日

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	目 標				援 助 内 容					
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	※1	サービス種別	※2	頻度	期間
しっかり歩けるようになりたい 【ニーズ】 ・自立に向けての意欲 ・生活上の目標 ・～のようになりたい ・～のようにする ・～する	碁会所に行って仲間と囲碁を打つ 【長期目標】 ・課題が解決した先の生活のワンシーンを表現します もっとも「その人らしさ」を表現します。		杖をついてトイレに行ける。 囲碁に触れる機会を作る 【短期目標】 ・長期目標を達成するための「段階的な目標」・「ステップ」を具体的に表現します		【サービス内容】 ・短期目標を達成するための「段取り」 ・課題整理総括表の見通し欄を参考に、必要な援助内容を書きます ・家族等による援助や、保険給付対象外サービスも明記します		【サービス種別】 ・サービス内容を適切に実行できる社会資源を位置付けます ・セルフケア⇒インフォーマルケア⇒専門的ケアの順で考えます ・具体的な事業所名や、家族のだれが行うのかを明記します		【頻度】 ・短期目標を達成するために必要かつ効果的な頻度を設定します	【期間】 ・短期目標を達成するために必要なサービス内容の実施期間を設定します ・目標やサービス内容に応じた期間を設定します
<長期目標・短期目標> モニタリングの際に達成度が評価できるように具体的に書きます。 “安心、安全、安楽、は明確な評価が難しいため、その人にとっての“安心、安全、安楽、とはどういうことかを具体的に書くようにします。										

※1「保険給付の対象となるかどうかの区分」について、保険給付対象内サービスについては○印を付す。

※2「当該サービス提供を行う事業所」について記入する。